

保護者様

令和6年度 学校評価について(概要報告)

信州大学教育学部附属松本小学校
校長 千葉 富夫

本年度の学校評価について、下記のように報告します。

記

- 1 実施期間 令和6年11月～12月
- 2 実施方法 Google フォームによるアンケート式 ※1学年児童は記述式
- 3 実施対象(回答者) 児童420名(376名) 教員20名(10名) 保護者323名(167名)
- 4 結果の概要・考察

(1) 児童アンケートより

- ① 【評価の高かった項目】 A:よくあてはまる B:ややあてはまる C:あまりあてはまらない D:あてはまらない E:わからない

<p>5 私は、学校行事に(運動会、音楽会など)にすすんで取り組んでいると思う。</p> <p>A:69.8% B:22.3% C:5.9% D:0.3% E:1.6%</p> <p>肯定的な回答が例年並9割程度となり、「よくあてはまる」の割合が昨年度より上昇した。児童にとっては限られた全校で取り組む学校行事の機会であるが、各学年・学級のよさを体感したり、上級生にあこがれをもったり、下級生の頑張りを応援したりする機会となり、行事以降の他学年との関わりが円滑になる様子が見られている。今後も各行事の目的を明らかにした上で児童と共有し、自己の成長等を感じられるよう指導していきたい。</p>	<p>15 交通安全教室で習ったことを意識し、交通ルールを守って安全に登下校している。</p> <p>A:66.6% B:24.9% C:3.3% D:1.6% E:3.6%</p> <p>肯定的な回答が例年並9割程度となり、「よくあてはまる」の割合が昨年度より上昇した。多くの児童は安全に心がけた登下校を行っている意識があることが伺える。一方で、公共のマナーやルールについて、十分に理解できるようになるには、発達段階に応じた継続的な指導が必要であると考える。定期的に指導の場をもち、家庭、地域と連携しながら安全に対する意識を高めていきたい。</p>
---	---

- ② 【評価の低かった項目】

<p>3 わたしは、授業がわかりやすいと感じたり、楽しく授業に取り組んだりしている。</p> <p>A:38.7% B:47.9% C:7.9% D:2.3% E:3.3%</p> <p>肯定的な回答が例年並8割程度となったが、「よくあてはまる」の割合は昨年度より10ポイント程度減少した。各公開研究授業の際には、外部講師より各児童の主体的な取組や思考・判断力の高まり等に評価をいただいている。一方で、児童の意識からは、各自の取組のよさが十分感じられていないことが伺える。各授業では振り返りの時間をもち、児童自らが学びのよさを感じたり、これからの学習に向けて自己の取組を調整したりする力の育成を目指すなど、指導の在り方について見直していきたい。</p>	<p>19 学校で給食を残さないようにしたり、ゴミの減量のために分別を心がけたりしている。</p> <p>A:52.5% B:35.7% C:7.2% D:1.3% E:3.3%</p> <p>肯定的な回答が例年並8割程度となったが、「よくあてはまる」の割合は昨年度より10ポイント程度減少した。学級活動や児童会活動を通じて、教室内のごみの分別や資源物、ペットボトルキャップの回収などに取り組んでいる。一方で、自分の出したごみを適切に処理する行動がとりづらい様子も見られる。引き続き学級指導や道徳の授業を通じて、身近な環境保全を視点とした指導を継続していきたい。</p>
--	---

(2) 職員アンケートより

- ① 【評価の高かった項目】

<p>3 幼小中職員による授業交流や参観を通して、自身の授業観、子供観を広げることができた。</p> <p>A:70.0% B:20.0% C:10.0% D:0% E:0%</p> <p>肯定的な回答が9割程度となった。継続してきた幼稚園保育、中学校授業の参観に加えて、中学校</p>

- ② 【評価の低かった項目】

<p>19 特別な配慮や支援を要する児童の支援シートを作成し、授業や相談にあたっている。</p> <p>A:0% B:60.0% C:10.0% D:20.0% E:10.0%</p> <p>肯定的な回答が6割程度となったが、「よくあてはまる」回答はなかった。特別支援学級がない本</p>
--

生徒会企画による昼休み交流、音楽会における園児、中学校生徒ステージの復活、6年生算数授業における中学校教員の乗り入れなど、学校園の交流を深めることができた。児童の姿から、学校園の取組のよさを教員自身が実感できていると考える。令和7年度からの幼小中一貫校の取組につなげていきたい。

校において、多様な児童の支援の在り方については職員研修等の機会を複数回もち、実践的な対応を考えてきた。引き続き各児童の実情を丁寧に捉え、寄り添った学校生活になるようサポート体制を整え取り組んでいく。また、保護者の悩みや不安についても、様々な立場の職員が対面での相談、電話やメール等対面以外での相談に応じられるよう、引き続き取り組んでいきたい。

(3) 保護者アンケートより

① 【評価の高かった項目】

10 学校の行事（音楽会・運動会・FMS祭等）は、子どもが生き生き活動できる場となるよう工夫されている。

A:74.9% B:22.2% C:1.8% D:1.2% E:0.0%

肯定的な回答が97.1%、過去最高となった。運動会を5月開催とした初年度となったが、練習時や当日の暑さを避けられる等のメリットが理解されたと考える。音楽会については幼稚園、中学校のステージが復活し、学校園の交流を深めることができた。冬期の開催や保護者席の少なさ等の課題を検討し、来年度に生かしていきたい。学年単位の校外学習については、バス代の高騰が課題となっている。学習のねらいを明確にし、必要な内容と経費について十分検討して臨みたい。

② 【評価の低かった項目】

19 学校は、いじめのない居心地のよい学校づくりに努力している。

A:33.5% B:46.7% C:1.8% D:1.2% E:16.8%

肯定的な回答が例年並8割程度となったが、「よくあてはまる」の割合は過去最低。また、「わからない」の割合は過去最高となった。いじめ事案が確認された場合には、校内で対策委員会をもち、実態の把握と迅速な対応方針を決定し、関係児童や保護者への対応に努めている。また、大学とも共有を図り、重大事態に陥らない対応に努めてきた。児童、保護者には引き続き、いじめ対応方針等を公開し周知を図ると共に、気軽に相談できる窓口をひらき不安や悩みを聞き取っていただけるようにしたい。

(4) 保護者自由記述より

附属松本小学校 教育活動について

- 基礎学力や基礎体力をもう少し学校でつけてほしい。
- 最低限のそれぞれの時数確保と、基礎学力や基礎体力をつけてほしい。
- 丁寧に書く指導をいれてほしい。
- 文章を書く機会をもっと増やしてほしい。書く機会が昔より少なくなっているように思う。
→各教科、領域等の年間指導計画の確認や授業時数の集計等により、授業内容に未履修がないようにすると共に、授業の在り方やねらいについて意識し、授業実践に努めたい。

学校行事等について

- 学校行事で親が見学できないもの（FMS祭りや児童会祭りなど）はもう少し具体的な活動などがわかると親子の会話がしやすい。
→学校での活動の様子については、学級だよりの他、ホームページのニュース欄を活用し発信してきている。内容が充実するよう努めたい。
- 以前は参観日で、校長先生から附属小の教育目標やカリキュラム等についてお話をいただく時間があり、学校の方針を知ることができました。年に1回くらいは直接、話を聞く時間があってもいいのではないかと。
→新入生保護者の皆様には、オープンキャンパスにおける学校説明会等において、学校経営方針や特別な教育課程についてお伝えしてきている。令和7年度は4月参観日を全校参観日と位置づけ、校長講話の実施を予定している。改めて本校の使命や方針についてご理解する機会にさせていただけるよう、多くの保護者の皆様のご参加をお願いいたします。

子どもの安全について

- 下校中に寄り道をするお子さんの中に、歩きスマホでゲームをしながら帰っているお子さんがいます。何度か見かけてますが、車通りもある場所なのでとても危険だと思います。学校でもご指導頂いてるとは思い

ますが、もう一度子供たちに危険行為をしていないかを見直す時間を少し持っていただけますと有難いです。
 →学校では、学校行事として取り組む訓練等において、児童自身が基本的な安全行動を身に付け、緊急時には自らの判断で行動できるよう指導してきた。一方で登下校時の歩行やバス、電車等の利用においては、ルールやマナーへの配慮に欠けることが多々あり、地域の方より苦情をいただくことがある。公共の場での振る舞いについて定期的に指導の場をもち、意識の向上が図れるよう努める。各ご家庭でもお子さんの通学状況を把握していただき、附属学校園の一員である意識を高め行動できるよう指導をお願いします。

○プール横の駐車場について、自由に入出入りできることについて不安。

→プール横の駐車場については、年度当初の利用説明にある方法に則り、ダッシュボードに利用者名を掲示する、施錠を行う等、適切な利用をお願いします。また、出口の左折進行の自主規制にご協力ください。

その他 要望等

○学習面については教科書に沿った学習はしっかりとやっけていただいているので助かります。

○自分の本当に好きなことが、総合の活動として扱われ、思う存分楽しみながら活動でき、満足な日々を送っているようです。

○学びの種を先生が撒いてくれて一緒に真剣に取り組んで下さり、大きく成長しました。

○自分の意見だけを優先しようとせず衝突が起こった際のお互いの着地点の擦り合わせ（相手への思いやり）を育む活動を学校・家庭ともに行えるような活動を更に推進して欲しいです。

○担任の先生がひとりひとりを尊重し、上手にクラスをまとめている印象です。引き続き学校生活が楽しい学びの時間であればいいな、と思います。

○育英会や後援会の活動をわかりやすく伝えていただけると、会費も集まりやすいと思う。

→新入生保護者の皆様にはPTA、後援会、育英会等、本校独自の団体について説明してきているが、在校生保護者の皆様については年度初めの各団体の総会がWeb 決裁になって以来、十分な周知がはかりにくくなっている。また、会費等の納入率も減少してきている。各総会資料と共に活動目的や活動内容を理解していただいたり、活動に協力いただけたりできるよう、おたよりやホームページを活用しお知らせしていきたい。寄附金や賛同会費の納入について、ご支援いただけますようお願いします。

○図書館に司書を入れていただきたいです。

→図書館の業務については、事務職員1名が他業務と兼ねながら行っている。専属の司書については要望し続けているが大学の予算上、実現が難しい。引き続き要望していきたい。

○クラスで給食の残飯を減らすことを競うことはなくなったようですが、全学で残飯を減らすことに目標にしていると聞いています。お腹はいっぱいだが、残飯が出ないように欠席者の分も食べているようで、カロリーの摂りすぎや偏った食事にならないか心配です。

→給食指導については「食に関する指導」に基づき、児童各自の体格や体調、嗜好等を考慮し、担任、栄養士、養護教諭等と協力しながらあたっている。個々の配食調整についても、担任の確認のもと各児童と相談しながら行っている。発達段階における嗜好傾向を捉えながら、各自に応じた指導に配慮していきたい。

(5) 学校評議員意見より (抜粋)

A:極めて優れている B:非常に良い C:非常に良い D:良い E:課題がある F:改善が必要

開催期日	学校運営について	授業参観から	全国学調について	学校評価について	本校の将来像
7月1日	A60% B40%	A60% B40%		A60% B40%	
2月7日	A20% B80%		A20% B80%	A40% B60%	B60% C20% D20%

○授業、教師、子どもがいい。なぜ?で展開する授業は、子どもが主役であることを見せていただいた。

○人事で若い教員に経験をどう積ませるか、全県で活躍できる人材をどう育てるか、考えていきたい。

○幼小中一貫教育を中心に、地域での優位性を生かし、特色ある学校運営をお願いしたい。

○幼小中一貫型教育稿以降について、県下唯一の幼小中12年間の教育実践の長年の実績を、子ども自らの探究という視点から提示、提案していけるよい機会だと思う。

○学校は生き物である。毎日、さまざまなドラマがあり、子どもたちの喜怒哀楽がある。すべての学級を参観させていただいたが居心地のよい空間(環境)であった。附属松本小学校に漂う「薫染」を感じ取ることができた。一年間という時間軸の中で、さまざまなドラマを乗り越えてこなければいけない環境だと考える。

(問合せ先)
 信州大学教育学部附属松本小学校
 担当 田代(教頭)
 電話 0263-37-2216